



# 自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

## 陸上自衛隊中央音楽隊みどり市演奏会写真撮影に参加して

桐生工業高等学校写真部顧問 橘伸一郎



写真部は、令和6年2月3日(土)みどり市にあるグンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で行われた陸上自衛隊中央音楽隊演奏会の写真撮影に参加させていただきました。コロナ禍の3年間、入間・百里・相馬原と撮影の機会をいただいていた参りました。

これまでの基地取材は爆音の中での撮影が多く、シャッター音に気を使うことはありませんでした。しかし今回は、日本を代表する音楽隊の演奏会、音を立てないことを最優先とする撮影指導となりました。

生徒にとって、舞台裏の歩き方、客席から見えない撮影ポジション、カメラの無音設定など初めての経験ばかりでした。また、撮影にあたっては、主役は音楽隊とお客様であり、撮影させてもらっている『感謝の気持ち』、失敗をしないコツは『二つのことを同時にしない』『心構えを確認して本番の撮影に臨みました。撮影の目標は、楽器と演奏者の表情を捉えること、演奏者と指揮者とのコミュニケーションを捉えることとしました。

演奏会が始まると緊張感はさらに増し、花道から撮影していた生徒は、緊張に耐えきれず、第二部からは袖幕や奥に引っ込んでしまいました。それでも、撮影は諦めることなく続けられ、満足いく撮影ができたようです。

貴重な機会をいただきましたことお礼申し上げます。



## 陸上自衛隊中央音楽隊みどり市演奏会写真撮影に参加して

桐生工業高等学校 1年 宮澤一恵



令和6年2月3日、群馬県みどり市にあるグンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で行われた演奏会で写真撮影をさせていただきました。

午前のリハーサルから『ピリッとした緊張感』が漂う舞台裏や花道を案内されながら、カメラテストを行いました。カメラの設定は初めて使う『無音モード』、ISO、シャッターホワイトバランスを実写をとおして決めることができました。

午後、客席が満席となり演奏会が始まると、撮影しているのは日本を代表する音楽隊なのだということを改めて思い知らされ、緊張感に包まれた撮影となりました。

第一部の撮影の中、指揮者の表現豊かなタクト裁きや表情、演奏者の真剣な表情に圧倒されました。続く第二部は、軽やかで親しみやすい選曲に加え、指揮者からも演奏者からも音楽の楽しさ素晴らしさが伝わってくる演奏でした。ステージ撮影は初めての経験でしたが、第一部と第二部の雰囲気や演奏の違いが伝わる写真を目指して頑張りました。

演奏後、音楽隊の皆さんとの記念撮影も良い思い出になりました。貴重な撮影をさせていただき、ありがとうございました。

